



熊襲征伐

小碓命の強い力に驚いた景行天皇さまは、「九州で反乱を起こしている熊襲建兄弟を征伐しなさい。」と命じられました。その時十六歳の少年だった小碓命は、皇室のご先祖さまである天照大御神をお祭りしている伊勢神宮にお参りし、おぼさまの倭比売命からその衣と袴をいただいで征伐にお出かけになりました。

熊襲建の家は、大勢の家来に厳重に守られ、新しい部屋を作っていました。新室落成祝いの日、命は少女のように髪を垂らし、おぼさまの衣と袴を着け、女性たちにまぎれ込んで部屋に入られました。そして宴たけなわになった頃、兄を征伐されました。逃げ切れなくなつた弟が、「あなたさまは、どなたですか。」と尋ねたので、「私は日本を治める天皇の皇子だ。反乱を起こしているお前たち二人を従えるよう遣わされて来た。」とおっしゃいました。熊襲建は降参して、「今まで熊襲(九州)では私たちがいちばん強かつたので熊襲建と名乗ってきましたが、あなたさまはもっと建く強い。だから『たける』という名前を差し上げます。」と言いました。この時から小碓命を日本武尊とお称え申し上げるようになりました。

考えてみよう

○お参りする

○国の統一

○知恵と勇気と強さ

